

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成 2 2 年 5 月 1 8 日（火）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成２２年５月１８日		開 会
		午前１０時００分
		閉 会
		午後 ７時１８分
出席者	委員	野 元 好 美 加 藤 明 徳 古 内 明 △米 山 定 克 阿 部 善 博 ○中 村 昌 治 二 木 栄 一 大 沢 洋 子 須 田 毅 藤 井 克 彦 角 尾 彰 央
	議員	議長 岸 浪 孝 志 副議長 菅 原 康 行
欠席者	な し	
説明のため出席者	な し	
事務局職員	今田議会事務局長 河本議事課長 佐藤同課担当課長 今村同課主幹 竹下同課主査 北野同課主査 西原議会総務課長 渋谷政策調査課長	

協 議 事 項	平成 2 2 年相模原市議会 5 月臨時会の運営について
傍 聴 者	あり
署 名	委員長 中 村 昌 治

午前10時00分 開会

○中村委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は11名で定足数に達している。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中村委員長 異議ないので、これを許可する。

これより日程に入る。

—————◇○◇—————

平成22年相模原市議会5月臨時会の運営について

○中村委員長 5月臨時会の運営について、昨日に引き続き、協議願う。

昨日の最後の中で、市民連合、共産党の中で、どちらか一つという形で、この議運で結果を報告してもらえという運びになっている。どちらかで代表して報告願う。

共産党。

○藤井委員 本来、昨日じゅうに結論を出そうということだったが、あえて、けさまで時間をもらって協議したが、大変申しわけないが、まとまらなかった。私どもとしては、自分たちの主張とともに、膠着している状況をどう打開していくかということで、ぎりぎりの譲歩をした提案もしてみたが、きのうの夜の時点で、市民連合が検討したいということだったので、けさを待ったが、結果として受け入れてもらえなかったということで、私ども単独としては、なすすべなしという状況になってしまった。

○中村委員長 市民連合から何かあるか。

○二木委員 時間をとってもらって協議したが、残念ながら、今、藤井委員から話してもらったとおりである。

○中村委員長 そうすると、この後の協議の進め方はどのようにしたらいいか。

共産党。

○藤井委員 できたら、1回休憩してもらって、すべての会派でもう少し経過について話をし、意見をもらえたらと思っている。

○中村委員長 創史会には昨日、辞退してもらっているので、創史会を除くすべての会派ということでいいか、創史会も含めたすべての会派ということか。

○藤井委員 私としては、どちらでもいい。

○中村委員長 創史会にはポストの関係で辞退してもらっているので、今手を挙げている会派の皆さんということでいいと思うが、いかがか。

それでは、創史会を除く会派の皆様で、引き続き協議してもらいたい。時間的にはどのくらい——とりあえず11時ごろにしておくか。申し出てもらえれば再開時間は延長するので、いいか。——

基本的には、きょうの正午までに、特別委員会を含む、すべてのポストを決めておこうという一つの目標があったので、大変恐縮だが、きょうは単刀直入に踏み込んだ中で、前向きな協議をしてもらいたい。

それでは休憩する。

午前10時05分 休憩

午前11時46分 開議

○中村委員長 再開する。

それでは、これまでの協議の報告をしてもらいたい。

民主クラブ。

○角尾委員 いろいろと協議しているが、まだ結論に至っていないので、もう少し時間をもらいたい。

○中村委員長 協議が調わない、時間をもらいたいということだが、各会派の皆さん、そのような形でいいか。——

昼の時間を1時間とったとして、その後の協議かと思うが、再開は2時ごろでいいか。——

○角尾委員 では、2時再開ということでお願いしたい。

○中村委員長 ただいま民主クラブから話があったが、皆さん、2時再開でいいか。——

本来だったら、昨日中に農業委員を決定するという目標でやっていたし、全体の取りまとめは、きょうの正午までにということだったので、時間的

に若干おくれた状況になっているのは皆さん承知していると思うので、少しでも話し合いがうまくいくように、各会派の主張を突っ張り合うのではなくて、各委員が各会派に持ち帰って、うちは譲歩することができないかということで、会派内での検討も、あわせて進めてもらいたい。

それでは、休憩する。

午前 11 時 48 分 休憩

午後 2 時 30 分 開議

○中村委員長 再開する。

お昼過ぎからただいままでの間の協議の結果について報告してもらいたい。

民主クラブ。

○角尾委員 4 者協議の結果、市民連合におりてもらうということで決定した。並びに、4 者の気持ちだが、ここまで時間をかけてしまったことを、この場をかりて、皆様におわびする。

○中村委員長 市民連合に辞退してもらって、大きく前に進んだ格好になる。したがって、現状では、新政クラブ 2、公明党 1、民主クラブ 1、無所属クラブ 1、共産党 1 だが、全体のポスト 4 に対して、2 つの会派に辞退してもらわないと定数まで削減することができない。創史会、市民連合に協力してもらったので、引き続き、協力してもらえる会派があったら、辞退の旨、申し出てもらえるとありがたいが、いかがか。

新政クラブ。

○須田委員 新政クラブとして、市民連合、創史会がおりられたことを重く見て、最大会派だが、2 を 1 にする。

○中村委員長 これにより、4 つのポストに対して、5 つの会派が要求を出している形になった。

公明党。

○加藤委員 私どもの会派としては、話し合いが膠着状況になった段階で、会派の決断として、昨日、辞退を考える用意があるということと言ってきたが、これまでの経過を総合的に判断して辞退する。

○中村委員長 公明党にも辞退してもらった。

確認する。これで定数と同じ数になったので、農業委員は、新政クラブ 1、民主クラブ 1、無所属クラブ 1、共産党 1 という形で決定する。長時間にわたり協議してもらったことに感謝するとともに、辞退してもらった会派の皆さん、協力してもらって、本当にありがとうございました。

続いて、常任委員会のポストについて、各会派からの要求を出してもらいたい。

新政クラブ。

○須田委員 我が会派としては、総務委員会、建設委員会、文教委員会の正、民生委員会、環境経済委員会の副。

○中村委員長 公明党。

○加藤委員 民生委員会の正である。

○中村委員長 民主クラブ。

○大沢委員 環境経済委員会の正、建設委員会と文教委員会の副。

○中村委員長 無所属クラブ。

○野元委員 環境経済委員会の正。

○中村委員長 市民連合。

○二木委員 建設委員会の副、文教委員会の正。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 総務委員会、民生委員会、建設委員会、文教委員会の副、以上である。

○中村委員長 創史会。

○古内委員 建設委員会の副、以上である。

○中村委員長 総務の正副は重なっていない。とりあえず、重なっていないところから順次決定する形でいいか。

新政クラブ。

○阿部委員 できれば、正の方から決めてもらいたい。

○中村委員長 では、委員長を決めた後に副を決めていく形でいいか。
（「はい」と呼ぶ者あり）

総務委員会の正は重なっていないので、新政クラブに決定する。民生委員会の正は重なっていないので、公明党に決定する。環境経済委員会は民主クラブ、無所属クラブで重なっているので、2会派で協議してもらうこ

とになる。建設委員会の正は、新政クラブだけなので決定する。文教委員会の正は新政クラブ、市民連合が重なっているので、2会派により協議してもらおう。

今の時点で、確定したポストもあるということで譲ってもらえるような動きがあれば、示してもらえればありがたい。決定したのは、総務の正、新政クラブ、民生の正、公明党、建設の正、新政クラブ、以上の3つである。

新政クラブ。

○須田委員 我が会派は総務と建設をもらったので、文教をおりる。

○中村委員長 新政クラブが文教の正を辞退したので、市民連合が文教の正ということで決定させてもらう。環境経済委員会の2会派、いかがか、少し協議が必要か。

進め方としては、どうするか。副は正が全部決まってからということにするか。休憩を挟むか。（「はい」と呼ぶ者あり）

見てもらってわかるように、建設、文教の副が重なっているので、休憩の中で辞退してもらえるような動きがあったら、あわせて、休憩後に報告してもらいたい。時間はどのくらいとったらいいか、3時の再開ぐらいで……。

共産党。

○藤井委員 特別委員会を一緒にというわけにはいかないか。

○中村委員長 皆さんの中で、特別委員会もとりあえず要求を出すことでいいということであれば構わないが、今回、監査は監査、農業委員会は農業委員会という形で流れてきたので、その流れを踏まえた上で、常任委員会をということで出させてもらった。皆さんが、その方がやりやすいということであれば、特別委員会もあわせてポストを出してもらって、例えば正については特別委員会も先に決定してから休憩することも可能だが、いかがか。この件に関して、何か意見があるか。

共産党。

○藤井委員 私どもとしては、特別委員会もあわせて協議してもらった方が、柔軟な対応がとれる余地があるかと思う。

○中村委員長 委員長職のバランスがあらうかと思うので、特別委員

会も各会派から要求を出してもらって、要求が重なったところについて、休憩をとって協議していくということでもいいか。

それでは、特別委員会の正副についても順番に伺っていく。

新政クラブ。

○須田委員 基地対策特別委員会、交通問題特別委員会、政令指定都市に関する特別委員会、議運の正、水源地域対策特別委員会の副。

○中村委員長 公明党。

○加藤委員 交通特の正、政令市、議運の副、以上である。

○中村委員長 民主クラブ。

○大沢委員 産業集積の正、交通問題の副、以上である。

○中村委員長 無所属クラブ。

○野元委員 交通問題、産業集積の正である。

○中村委員長 市民連合。

○二木委員 産業集積の副である。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 基地対、交通の正、以上である。

○中村委員長 創史会。

○古内委員 ない。

○中村委員長 基地対策特別委員会は、新政クラブと共産党が正で重なっている。副は現在には要望がない。交通問題特別委員会は、新政クラブ、公明党、無所属クラブ、共産党が正、副は民主クラブ。産業集積の正が民主クラブ、無所属クラブ、副が市民連合。水源の正はなくて、副が新政クラブ。政令市の正が新政クラブ、副が公明党。議運の正が新政クラブ、副が公明党という形になっている。現在、まるっきりあいてしまっている特別委員会のポストは、基地対の副と水源の正があるが、基地対は2会派が要望しているので、話の上で、どちらかが副にという話もあろうかと思うが、水源については、どこの会派も全く手を挙げていない。委員長職から決めていきたいと思うので、水源の正を要求したいという会派があったら、要望を出してもらいたい。

民主クラブ。

○大沢委員 先ほど産業集積の正を出したが、水源の正に変える。

○中村委員長 産業集積の正を辞退して、水源の正を要求ということ
でいいか。

○大沢委員 はい。

○中村委員長 特別委員会の委員長職について確認する。基地対策は、
新政クラブと共産党が委員長を要求している。交通問題は、新政クラブ、
公明党、無所属クラブ、共産党が正を要求している。産業集積は無所属ク
ラブが正を要求しており、1会派なので、こちらは決定する。水源地域の
正も民主クラブ1会派だけなので、こちらも決定する。政令市、議運の正
は新政クラブということで、まず、委員長職を決定させてもらう。

委員長職で重なっているところは、環境経済委員会、基地対策、交通問
題、この後、休憩を挟んで、関係する会派の皆さんで協議をお願いしたい。
順番だが、先に環境経済委員会を協議してもらって、終わったら、基地対
策に関係する会派の皆さんに連絡してもらいたい。基地対策にかかわる2
会派で協議してもらって、終了したら、交通問題の委員長職を要求してい
る会派の皆さんに連絡してもらおうという形で、順次進めていきたいと思っ
ている。再開時間は迫って連絡する形でいいか。委員長職なので、できた
ら速やかに協議を進めてもらい、理解してもらえる会派は辞退をお願いし
たい。そのような形でいいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、休憩する。

午後2時47分 休憩

午後4時20分 開議

○中村委員長 再開する。

委員長ポストについての協議を関係する会派間でそれぞれ持ってもらっ
た。結果について報告をお願いしたい。

まず、環境経済委員会の民主クラブと無所属クラブの報告からお願いす
る。

民主クラブ。

○角尾委員 協議させてもらったが、決定できなかった。あと、逆に
2会派だけで話し合うものなのかという意見も出たので、報告させてもら
う。

○中村委員長 では、それはまた後ほど詳しく伺う。

基地対策特別委員会についての報告をお願いします。

新政クラブ。

○阿部委員 基地対策は共産党に副におりてもらうということで、新政クラブの方で決めさせてもらった。

○中村委員長 基地対については、共産党に辞退してもらい、共産党は副のポストを要求した。したがって、正は新政クラブに決定する。

続いて、交通問題特別委員会についての報告をお願いします。

新政クラブ。

○須田委員 公明党が副をおりて、共産党が正から副へということである。無所属クラブとは、まだ結論に至っていない。

○中村委員長 交通問題は、公明党が辞退、共産党も正を辞退し、新たに副を要求した。結果として、正の要求が新政クラブ、無所属クラブ、副の要求が民主クラブ、共産党という形になった。

委員長に関係する3つの会合を持ってもらったが、基地対策特別委員会の正を除いては結論が出なかった。先ほど環境経済の中で、民主クラブから若干話があったが、もう少し決まらなかった経緯等を話してもらって、どのような形で皆さんに諮った方がいいのか、説明をお願いしたい。

民主クラブ。

○角尾委員 やはり、その会派ごとの考えがあって、お互いに妥協案を出し合って、会派に持ち帰って話し合った結果、それにはのれないというやりとりがあって、会派同士で話しているとそうになってしまうから、例えば、どういう形であれ、間に入る形になるか、あるいは、逆に、どちらかがどこかにスライドすることもあり得るのかとか、さまざまな意見が出た。例えば、今スタンスとして、エントリーから入って行って、ダブっているところで話し合いになっているが、手法として、副とかエントリーしないで、正のエントリーのところで、何個とるという調整の仕方、違うスタンスもある。そういう方式でやった場合には、ダブる云々ではなくてどうなるかという話し合いでいって、後でどの委員会を選択するかということもある。そういう手法もあるということも踏まえ、あるいは2会派だけではなく、どこかの会派に間に入ってもらって話をするという、いろいろ

な考え方があると思う。2委員会だけではずっと平行線でいってしまう可能性があると感じたので、そういう話をさせてもらった。

○中村委員長 無所属クラブ。

○野元委員 無所属クラブから産業集積特別委員会は民主クラブに譲るというか、どうしても環境経済委員会の委員長をとというのがうちの会派の考え方だったもので、特別委員会の長といかがかという提案をしたところ、民主クラブは、それは受けることができない。逆に民主クラブから、水源地域対策特別委員会をこちらにという話があったが、うちは環境経済委員会の委員長ということにさせてもらう。民主クラブは、環境経済ということではなくて、常任委員会の委員長をとという考えだということを知ったから、何らかの打開策がどこかで図れないかということで、先ほどの民主クラブの提案になった。

○中村委員長 いろいろな決め方があると思うが、最初にポストを出していった中で、正のところからダブリがなければ決定していいかという中で、今回の協議に入っている。しかしながら、環境経済の中で話が行き詰まってしまったので、例えば委員長職が確定した会派において、うちの正を譲ってもいいという話があれば、また、そういう協議も、できなくはないと思う。ただ、新たな方法での人数をとというのは難しいと、私としては率直に感じている。その辺を踏まえて、ほかの会派の皆様からも、いい提案があったら伺いたい。いかがか。

ここまで皆さんに前向きな協議をしてもらってきて、本当にもう一踏ん張りというところではないかと思っているので、何とか理解してもらって、実は、きょう午前中に決定していくということが延びてしまっているのも、議案をつくるのが忙しい状況にもなっている。できれば、その辺も踏まえた上で、前に進めてもらえたらありがたいと思う。

委員長職が確定したところで譲ってもらえるところがあれば、申し出てもらえれば、交換するということでも可能かと思う。

今後の進め方はどうするか。副委員長職については一切進めていないわけで、正のポストが決定してから副委員長のポストへというのが自然と考えるので、そのようにしたいという一つの流れがあるが、先ほどから話しているように、時間が来ていることと、もう一つ、議運の合間をぬって、

本日、代表者会議も予定されているので、どこかで1時間程度時間を設けて、開催したいと思っている。ちょっと前に進んだので、先ほどの議運の後、スムーズに事が運ぶと思ったので、代表者の皆さんに待機願っている状況である。全会派に集まってもらって、委員長職、副委員長職を含めたポストを協議してもらうのが一番早く決まるのか、それとも関係する会派で、それぞれ協議していくか。

新政クラブ。

○阿部委員 副が重なっているところもあると思うので、環境経済以外は副の方を進めてもらった方がいいと思う。それと並行して、環境経済の話が出ないと進めないと思うが、民主クラブと無所属クラブで関係ありそうな会派に声をかけてもらって、意向を確認して、責任持って進めてもらいたい。

○中村委員長 副委員長職のポストについては、重なっていないところもある。特に民主クラブ、無所属クラブがかかわらないポストは、先に決定していくというやり方もあると思うが、どうするか。

公明党。

○加藤委員 先ほど、正のところだったので言わなかったが、交通特の正をおりた段階で、そのままスライドして交通特の副をこちらから要望しなかったが、今の状況で諮るのであれば、一応、希望としては、水源特の副を考えさせてもらえればと思う。

○中村委員長 公明党で、交通問題の正を辞退した関係で、水源の副を要望するということである。したがって、水源地域の副については、新政クラブと公明党が重なった形になっている。

市民連合。

○二木委員 先ほど基地対策特別委員会の副が空席だったが、共産党が正から副におりてきたということを踏まえて、先ほど手を挙げていなかったが、我が会派として、基地特の副に手を挙げさせてもらう。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 今、公明党は交通の正をおりたこととの関係で話したと思うが、市民連合はどういう趣旨で話したのか、ちょっとよくわからなかった。

○中村委員長 市民連合。

○二木委員 冒頭言ったとおり、先ほどの段階では、どこの会派からも手が挙がっていなかったということで、先ほど委員長ポストの打ち合わせのときに、会派に持って帰って、そういう話を持ってきている。理解してもらいたい。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 先ほど、正だけでなく副もということで、それぞれが出し合ったというふうに理解しており、今の時点で、正の調整の中で新たにというのは理解できるが、なぜ、うちが正から副におりたからといって、わざわざ、そこの副に手を上げるのか、よく意味がわからない。

○中村委員長 市民連合。

○二木委員 共産党が正から副におりたという話は、議運のこの時間の話であって、その前の段階の空席だったというところを持って帰って、こちらに臨んでいるので、理解してもらいたい。

○中村委員長 無所属クラブ。

○野元委員 まだ正の決定がないまま、副も同時に進行してしまうと、なかなか複雑な流れになってしまい、今、正をおりたので副にという話が、委員会をまたいでの移動ということも含めてあったので、そうすると、同時並行で重なっていないところは副の議論を始めるというのは難しいと思った。先ほど委員長から全会派でという話があったので、そういった中で、正の部分も含めて、意見交換しながら調整できればいいと提案する。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 ちょっと別な話になってしまったが、先ほど副の要求もということであって、正の調整の中で動かざるを得ないということはわかるが、そうではなくて、あいていたから追加でという話がここで受け入れられるのかどうか、私は、ちょっと、びっくりした。

○中村委員長 他の会派の皆さん、その関係についてはいかがか。

共産党としては、新政クラブとの協議の中で、自分の方で退けば副が確定するというニュアンスを込めて正を辞退したというのは十分考えられることで、その辺を話していると思うが、現実的に休憩中に空白だったことも事実で、その部分は、この協議の中で、皆さんがどう考えるかということ

ころで、どちらかの会派に理解してもらわなければならないと思っている。
新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブとしては、共産党が主張した部分も理解できる部分はある。議運の中でも、ここは正が2つ手が挙がっていて、どちらかがおりてという雰囲気の話もあったという記憶もあるが、一方で、市民連合で、ここを望む会派がないということで持ち帰って手を挙げたという主張は主張ということで、それも含めて該当する両会派で協議してもらえればといいと思う。

○中村委員長 公明党。

○加藤委員 私どもの会派としては、今、新政クラブが言ったような形で、2会派で話し合ってもらってもいいと思う。この流れの中であったものだから、私どもの会派として、先ほど交通特の云々という、調整の部分でということは確かにそのように言ったが、先ほど休憩に入る前の段階では、基地対策特別委員会の副が空白になっている扱いをどうするかというところまではなかったということで、それぞれの主張は筋が通ると受けとめるので、話し合いをしてもらえればと思う。

○中村委員長 その部分、手を挙げるのが認められるかどうかを含めて協議をしてもらいたいということだと思うが、その他の会派の皆さん、いかがか。――

そうすると、その辺も含めて、休憩を挟んで、まず全体での協議を持ってもらって、その後に個別の協議を持っていくという形でいいか。――

この協議の間に代表者会議を開催するが、大体1時間程度ということで、再開時間は追ってということでいいか。――

それでは、休憩して、まず、全体で協議してもらい、その後に個別に協議してもらいたい。順番としては、正のポスト、続いて副委員長のポストを合わせての協議を前向きに進めてもらいたい。

それでは休憩する。

午後4時41分 休憩

午後6時45分 開議

○中村委員長 再開する。

委員長ポスト、副委員長ポストについて、協議の報告をお願いしたい。
新政クラブ。

○須田委員 協議した結果を申し上げる。総務委員会は新政クラブが正、無所属クラブが副、民生委員会は公明党が正、日本共産党が副、環境経済委員会は民主クラブが正、新政クラブが副、建設委員会は新政クラブが正、創史会が副、文教委員会は市民連合が正、民主クラブが副、基地対策特別委員会は新政クラブが正、日本共産党が副、交通問題特別委員会は新政クラブが正、日本共産党が副、産業集積対策特別委員会は無所属クラブが正、市民連合が副、水源地域対策特別委員会は無所属クラブが正、公明党が副、政令指定都市に関する特別委員会は新政クラブが正、公明党が副、議会運営委員会は新政クラブが正、公明党が副ということである。

○中村委員長 ただいま新政クラブから、正副での順番の確認をしたので、協議の結果と変わらないということで確認してもらいたい。いいか。
（「はい」と呼ぶ者あり）

長時間にわたり協議してもらい、協力してもらった各会派の皆さんには感謝申し上げます。

続いて、常任委員会の構成等について協議してもらいたい。各会派の要求する常任委員会委員数を挙げてもらいたい。なお、無所属議員には事前に事務局からお尋ねし、小林正明議員は建設、吉田悌議員は文教を希望している。各会派で要望する委員の人数を振るので、要望をもらいたい。

新政クラブ。

○須田委員 総務が４、民生が３、環境経済が３、建設が３、文教が３である。

○中村委員長 公明党。

○加藤委員 総務が２、民生が２、環境経済が１、建設が２、文教が１である。

○中村委員長 民主クラブ。

○大沢委員 総務が１、民生が１、環境経済が２、建設が１、文教が２である。

○中村委員長 無所属クラブ。

○野元委員 総務が２、民生が１、環境経済１、建設１、文教１であ

る。

○中村委員長 市民連合。

○二木委員 各 1 である。

○中村委員長 共産党。

○藤井委員 総務 1、民生 1、建設 1、文教 1。

○中村委員長 創史会。

○古内委員 総務 1、民生 1、建設 1、文教 1 である。

○中村委員長 無所属議員が建設と文教に入るので、総務が 12 名、民生が 10 名、環境経済が 8 名、建設が 11 名、文教が 11 名で間違いな
いか。

人数的には、11 名もしくは 10 名ということになると思う。したがっ
て、総務委員会からは必ず 1 名どこかに移動してもらいたい。加えて、1
名が抜けたとして 11 になった総務、建設、文教から、どなたか 1 名に移
動してもらいたいという形になるが、調整のつく会派はあるか。

委員会の構成としては、人数のばらつきがあるといけないので、10 名
の委員会が 3 委員会、11 名の委員会が 2 委員会ということで、52 名と
いう形にしたいと考えている。

○野元委員 無所属クラブが総務を 1 にして、民生に 2 ということで
いかがか。

○中村委員長 無所属クラブは、総務 2 を 1、民生 1 を 2 に変更であ
る。（「環境経済から」と呼ぶ者あり）

○野元委員 総務から環境経済への選択肢しか、今、考えない方がい
いか。（「そうですね」と呼ぶ者あり）済まない、では、ちょっと待って
もらいたい。

○中村委員長 新政クラブ、いかがか。

○須田委員 5 分ぐらい時間をもらって、相談してみる。

○中村委員長 先ほど無所属クラブから提案があった総務 1 名を民生
へという形で、ほかの会派が環境経済に移ることができれば、そういうこ
とも考えられると思うので、各会派でできる限り柔軟に対応してもらいた
い。

○須田委員 無所属も含めて、5 分でなくて、10 分ぐらいもらいた

い。

○中村委員長 一たん休憩して、協議がまとまり次第、再開という形にするか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それから、先ほどの議会の役職の一覧が完成したので配付してもらう。本来だと、常任委員会の構成を決定した後に、議会運営委員会の構成についても協議していきたいと考えているが、会派構成に変更がないので、議会運営委員会は、現行のままということで了解してもらえるか。（「了解」と呼ぶ者あり）

では、議会運営委員会の構成については、現行どおりという形で確認させてもらった。

それでは、役職の確認をお願いする。農業委員までは確認済みということで、総務委員会からいく。総務の正が新政クラブ、副が無所属クラブ、民生の正が公明党、副が日本共産党、環境経済の正が民主クラブ、副が新政クラブ、建設の正が新政クラブ、副が創史会、文教の正が市民連合、副が民主クラブ、基地対策の正が新政クラブ、副が共産党、交通問題特別委員会、正が新政クラブ、副が共産党、産業集積特別委員会、正が無所属クラブ、副が市民連合、水源地域対策特別委員会、無所属クラブが正、副が公明党、政令指定都市、新政クラブが正、副が公明党、議会運営委員会、新政クラブが正、副が公明党ということで、各会派の皆さん、いいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、議会運営委員会の構成については確認してもらったので、常任委員会の構成について、協議してもらいたい。持ち帰りで各会派の方に確認、必要があれば会派間での調整をお願いしたい。

今、議長、副議長、議長の当て職になっている神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員については数字になっているが、後ほど事務局から、岸浪議長、菅原副議長の名前の入ったものを差しかえて各会派に届けるので了承願う。

それでは、決定次第、議運を再開したいと思うので、再開時間は追ってということでいいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは休憩する。

午後 6 時 5 7 分 休憩

午後 7 時 13 分 開議

○中村委員長 再開する。

休憩中に吉田悌議員に確認したところ、移動できるということで、無所属の吉田悌議員を文教から環境経済に移動してもらいたい。そのほか、何か移動できる場所があったら報告をお願いします。

無所属クラブ。

○野元委員 先ほど総務から民生という話をしたが、総務 1、民生 1、環境経済 2 ということでお願いします。

○中村委員長 総務が 2 だったものが 1、環境経済を 1 から 2 ということで、したがって、総務委員会が 11、民生委員会が 10、環境経済委員会が 10、建設委員会が 11、文教委員会が 10 ということで、合計で 52 ということで確認してもらいたい。いいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

また、お手元に議会運営委員会委員の数について、先ほど休憩前に決定した資料を届けてあるので、あわせて確認をお願いします。

先日から長時間の協議がすべて終了したので、この後、事務局から常任委員、議運、特別委員の構成表、役職一覧表を配付するので、本日、議運閉会后、速やかに事務局まで提出してもらいたい。なお、特別委員会、附属機関の委員の交代がある場合、事務局から用紙を渡すので、辞表の提出をお願いします。特別委員会、附属機関の委員の辞表については、あしただ結構である。

ただいまお手元に、常任委員会委員の構成表を配っている。それぞれの会派の人数に誤りがないか、確認をお願いしたい。なお、最終的にこの確認をさせてもらうため議運を開催するが、あしたの午前 9 時半からということでもいいか。――

確認してもらった。これで今回の役職にかかわる議運はすべて終了したが、閉会していいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

長時間にわたり協議してもらい、若干時間が過ぎたが、おかげさまで、本日中に取りまとめをすることができた。皆様の前向きな協議に感謝する。

次回の議会運営委員会は、5 月 19 日午前 9 時 30 分から開会する。

以上で議会運営委員会を閉会する。

午後 7 時 1 8 分 閉会